

認知症になったら誰に頼る？

認知症は、脳の神経細胞が壊れることによって生活に支障をきたすような症状や状態を指します。誰にでも起こりえますが、家族だけで抱え込みがちです。抱え込むと、本人・家族ともに疲弊し、家族関係が崩れてしまうこともあります。

自分や家族が認知症になったとき、あなたには頼れる人はいますか？ 新富町では、地域で支え合うことで、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指しており、さまざまな取り組みが行われています。

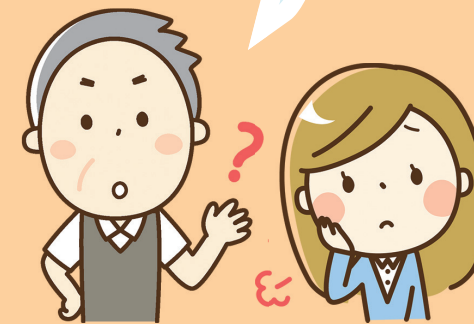
もしかして
認知症？
でも気のせいかも…
もう少し様子を見よう

相談に行きたいけど、
どこに行けばいいの？
どんな内容でもいいの？

自分の生活で
手一杯。
家族だけで
世話をするなんて
無理だよ…

認知症の家族を
連れていける
ところって
あるの？

認知症に
なった家族に
どうやって接すればいいか
わからない！



認知症は、早めの受診や相談が肝心です！ まずは
地域包括支援センターへお気軽にお越しください

住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう、高齢者の生活上の困りごと・悩みなどの「相談窓口」となっています。お話を聞かせていただき、必要なサポートへつなぎます。本人やご家族だけでなく、地域の方からの相談も受け付けています。



どんどん私たちが
頼ってくださいね！

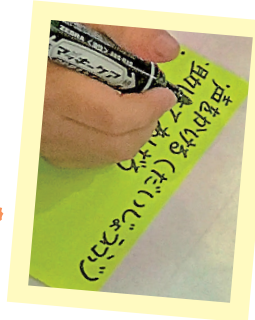
認知症サポーター による見守り

認知症に関する基本的な知識や対応の仕方を、養成講座で学び、認知症の人や家族を地域で温かく見守っています。

地区サロンや企業、学校、定期講座など、多数の方が講座を受講し、サポーターになっています。



どのように接すればいいかわかった。早く学んでいたら母の力になれたのに…



これからはお年寄りの人を見かけたら、進んであいさつをしたり声をかけようと思った

つどえる場所の 紹介

社会とのつながりを持つことが、脳の機能を保つことにつながります。コロナ禍で外出が難しくなった結果、認知症が悪化しているともいわれています。誰かと話したり、運動するなど、つながりを持つ場はありますか？

こむずカフェ



はれる家



あかしあ



こまちカフェ



家族同士での 交流の場

本人や家族だからこそ、わかりあえたり、相談できたりすることがあります。自分だけで抱え込まず、誰かに話すことで日頃の不安やモヤモヤした気持ちが和らぐかもしれません。

家族会が開催しているオレンジカフェは、家族だけでなく、本人や地域の方々が集ってゆっくりとした時間を過ごす場になっています。



認知症に関するご相談、上記のサポートに関するお問い合わせは

地域包括支援センター ☎0983-33-5727